

# 交付運用報告書

この冊子を読むことでファンドの運用成績を確認できます。  
受益者のみなさまの投資判断の一助として是非ご活用ください。

## 三菱UFJ NASDAQオープン Aコース

追加型投信／海外／株式

第22期末（2018年7月31日）	
基準価額	8,430円
純資産総額	2,316百万円
騰落率 (上昇率・下落率)	+20.6%
分配金合計	0円

第22期（決算日：2018年7月31日）

作成対象期間

（2017年8月1日～2018年7月31日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、NASDAQ登録株式を実質的な主要投資対象とし、新技術・新製品開発力、すぐれたビジネスモデル、マーケティング力を基に、長期的な成長が期待できる企業に着目し、選別投資を行ってまいります。また、銘柄選定に際しましては、キャッシュフロー面等からの割安感をも考慮し、成長性を有しつつも、株価が相対的に割安な銘柄を主要投資対象とします。実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図る運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしく願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、下記の手順で閲覧できます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社まで、お問い合わせください。

＜運用報告書（全体版）の閲覧およびダウンロード方法＞

- ①右記ホームページにアクセス
- ②「基準価額一覧」もしくは「ファンド検索」から当ファンドを検索し、選択
- ③ファンドの詳細ページで運用報告書（全体版）を選択



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
フリーダイヤル **0120-151034**  
(受付時間：営業日の9:00～17:00、  
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

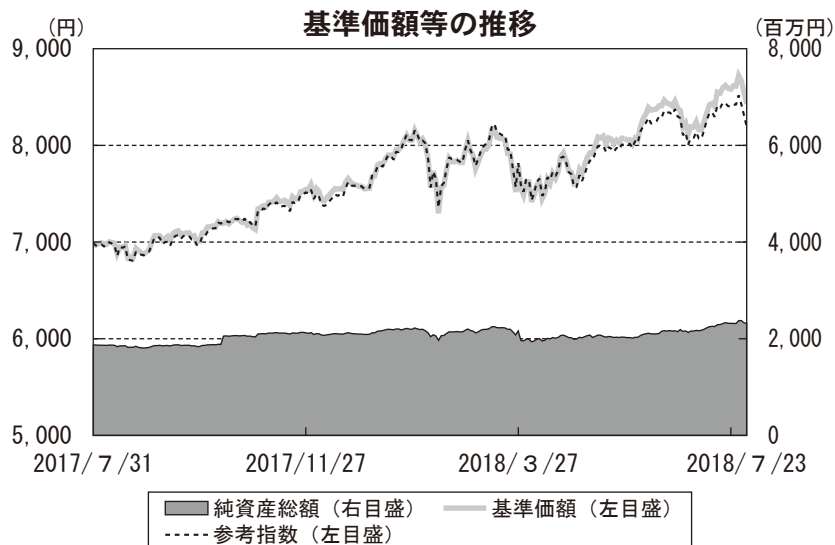
## 運用経過

## 当期中の基準価額等の推移について

(第22期：2017/8/1～2018/7/31)

## 基準価額の動き

基準価額は期首に比べ20.6%の上昇となりました。



・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。



実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

## 基準価額の主な変動要因

上昇要因

個別銘柄の株価が上昇したことが基準価額の上昇要因となりました。

## 1万口当たりの費用明細

(2017年8月1日～2018年7月31日)

**i** 記載された金額は、期間中にファンドを介して受益者のみなさまが間接的にご負担いただいた費用です。

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	126円	1.665%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数)
(投信会社)	( 60)	(0.789)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販売会社)	( 58)	(0.767)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	( 8)	(0.110)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	22	0.294	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株式)	( 22)	(0.284)	
(投資信託証券)	( 1)	(0.009)	
(c) 有価証券取引税	0	0.002	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	( 0)	(0.002)	
(投資信託証券)	( 0)	(0.000)	
(d) その他費用	2	0.021	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 1)	(0.017)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監査費用)	( 0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(その他)	( 0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	150	1.982	
期中の平均基準価額は、7,594円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

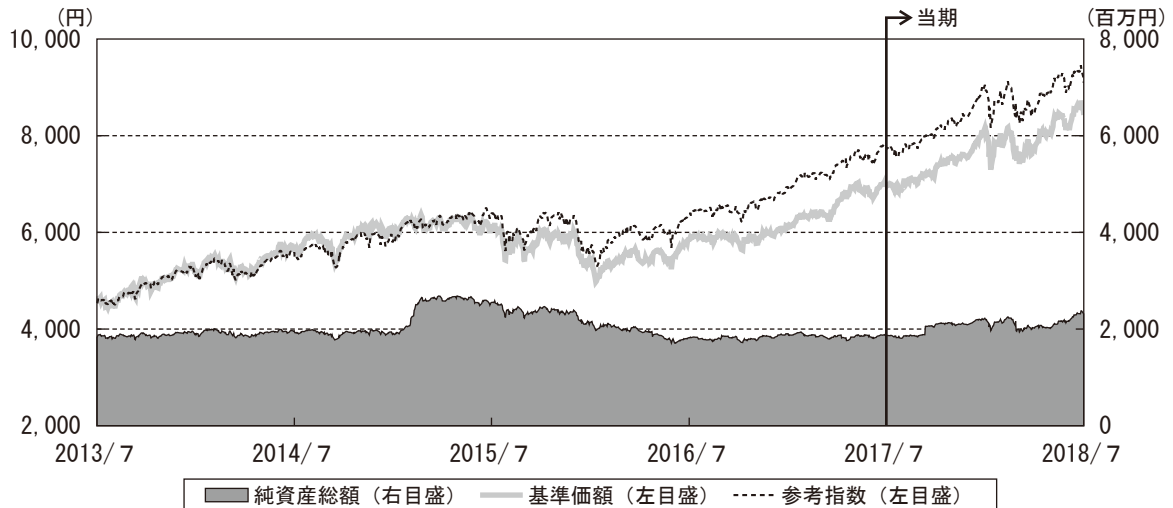
## 【費用開示の仕組み】

下記  部分の費用が費用明細に含まれています。



## 最近5年間の基準価額等の推移について

(2013年7月31日～2018年7月31日)



- ・参考指数は、2013年7月31日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。
- ・海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

## 最近5年間の年間騰落率

	2013/7/31 期初	2014/7/31 決算日	2015/7/31 決算日	2016/8/1 決算日	2017/7/31 決算日	2018/7/31 決算日
基準価額 (円)	4,540	5,740	6,114	5,862	6,992	8,430
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
基準価額騰落率	—	26.4%	6.5%	-4.1%	19.3%	20.6%
参考指数騰落率	—	23.1%	14.4%	-0.2%	21.7%	17.2%
純資産総額 (百万円)	1,836	1,963	2,550	1,821	1,872	2,316

参考指数は、NASDAQ総合指数 (円ヘッジベース) です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

## 投資環境について

(第22期：2017/8/1～2018/7/31)

### ◎NASDAQ株式市況

- ・2017年8月以降、株高の継続や堅調な住宅価格を受けて、消費マインドが一層の改善を示し、小売売上高が堅調に推移したこと等、米国景気の拡大傾向が好感されました。米国企業の業績も好調に推移した他、税制改革法案成立により景気加速の公算が高まったことも市況への追い風となりました。2018年2月に入ると、強めの賃金上昇率等から市場の期待インフレが上昇、利上げ回数の上方修正が意識され、市況が調整する局面もみられました。しかしながら、景気と企業業績は依然として好調なことから下値では一定の買いが入りました。その後も米中貿易摩擦激化等が懸念材料視される場面もありましたが、好調な景気や企業業績を好感し、上昇基調にて期を終えました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

**i** 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

### <三菱UFJ NASDAQオープン Aコース>

- ・当ファンドは、NASDAQマザーファンド受益証券を通じて、NASDAQ登録株式（REIT（不動産投資信託証券）含む）に投資しました。また、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図る運用を行いました。為替ヘッジを行ったため、為替市況の変動が基準価額に与える影響は限定的となりました。
- ・その結果、基準価額は期首に比べ20.6%の上昇となりました。

### <NASDAQマザーファンド>

基準価額は期首に比べ25.8%の上昇となりました。

- ・NASDAQ登録株式を主要投資対象とし、値上がり益の獲得をめざして運用を行いました。インターネット、医療機器、消費などの成長産業に注目し、特に有望と思われる企業に選別投資を行いました。銘柄選定にあたっては、キャッシュフロー面等からの割安感にも着目しました。
- ・銘柄数は、期首時点においては、41銘柄としていました。
- ・当期においては、各業種において個別企業調査を進める中、銘柄入れ替え等を行い、期末時点の組入銘柄は、37銘柄となりました。

以上の結果、NASDAQ市況が上昇する中、一部テクノロジー関連株が好業績を背景に上昇したことや為替が対円で上昇したことなどから、基準価額は上昇しました。

パフォーマンスに影響を与えた主な銘柄は以下の通りです。

(プラス要因)

◎銘柄

- ・「AMAZON.COM INC」：主力事業であるオンライン小売業が順調に拡大することに加え、クラウドサービスのAWS（アマゾン・ウェブ・サービス）などの事業も収益に貢献するとの見通しから、期首より保有しました。収益が期待通り順調に拡大し、業績に貢献、株価が上昇しました。
- ・「MICROSOFT CORP」：パソコン用基本ソフトウェア、業務用ソフトウェアに加え、ゲーム機、データベース等、多岐にわたる製品を提供し、近年はクラウドサービスにも進出する等、成長機会の多様性を評価し、期首より保有しました。収益が期待通り順調に拡大し、業績に貢献、株価が上昇しました。

(マイナス要因)

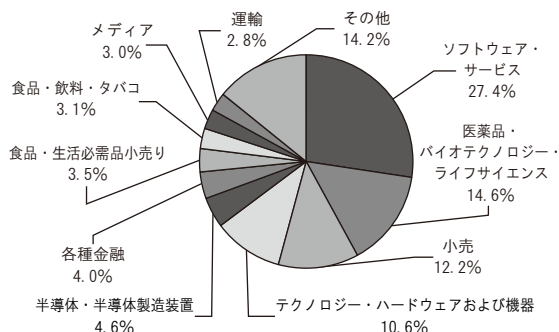
◎銘柄

- ・「CELGENE CORP」：バイオ企業としての新薬開発力の高さや既存薬品の成長余力等に注目し、期首より保有しました。しかしながら、新薬の開発が順調に進展せず、業績の先行きへの不透明感が高まり、株価が下落しました。業績不透明感の高まりを受け、期中に全株売却しました。
- ・「COMCAST CORP-CLASS A」：TV・ドラマの映像配信やネット接続・音声通話サービスによるケーブル通信、加えて、映画製作、テーマパーク運営等、幅広い事業展開を評価し、期首より保有しました。買収戦略を巡る不透明感から株価は冴えない動きとなりましたが、事業基盤の強さに変化はないとの判断の下、継続保有としています。

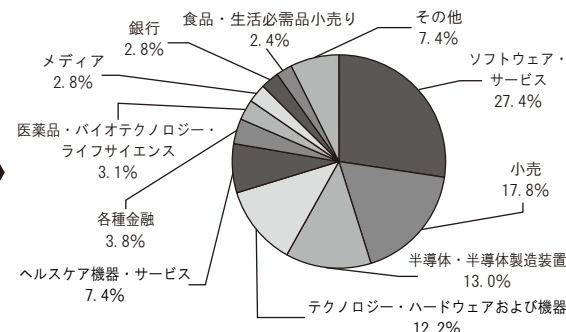
(ご参考)

組入上位10業種

期首 (2017年7月31日)



期末 (2018年7月31日)



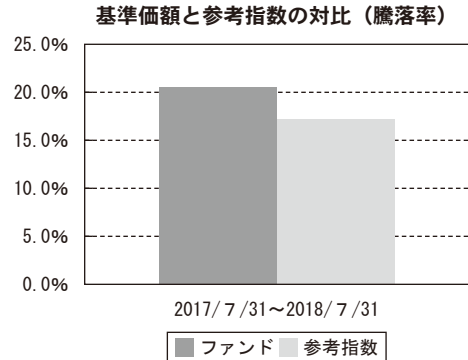
(注) 比率は現物株式評価額に対する割合です。

(注) REITを含めて表示しています。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

**i** ベンチマークまたは参考指数と比較することで、期間中の運用内容を評価することができます。

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数はNASDAQ総合指数（円ヘッジベース）です。



## 分配金について

**i** 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】 （単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第22期
	2017年8月1日~2018年7月31日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,180

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

### <三菱UFJ NASDAQオープン Aコース>

#### ◎今後の運用方針

- ・NASDAQマザーファンド受益証券を高位に組み入れる方針です。
- ・実質組入外貨建資産については原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減に努めます。

### <NASDAQマザーファンド>

#### ◎運用環境の見通し

- ・足元、地政学面のニュースが市況の上値を重くしている感がありますが、米国の景気と企業業績は堅調に推移しており、下値は限定的、市況は上昇に向かうと予想します。米国企業全般の業績は、2018年も2桁増益が予想されます。また税制改革法案の施行も、市況へのプラス要因となると思われます。長期金利の上昇への懸念についても、物価上昇率は落ち着いた水準にあり、インフレ加速の兆候はみられないことから、急激な上昇の可能性は低いものと考えています。また、米国の保護主義政策は、標的が主に中国である上、対象製品も限定される見込みであり、今のところ世界的な貿易急減につながる公算は低いとみられます。株価水準面でも極端な割高感はないため、今後も上昇基調の継続が予想されます。

#### ◎今後の運用方針

- ・インターネットや医療機器等の分野におけるNASDAQ企業の成長力の高さに注目しています。スマートフォンやタブレット・パソコンの普及によりインターネット関連企業は恩恵を受けます。オンライン商取引を行う企業は高成長を遂げています。また画期的な技術開発により新しい市場を開拓することで、収益拡大余地が大きいと思われる医療機器関連企業にも注目しています。銘柄選定にあたっては、割安感等にも着目しつつ、成長力のある銘柄に投資することに注力する方針です。



## お知らせ

**i** 受益者のみなさまに知っていただきたいファンドに関するお知らせを掲載しています。

## ◎約款変更

- ・当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。(変更前(旧) <http://www.am.mufg.jp/>→変更後(新) <https://www.am.mufg.jp/>) (2018年1月1日)

## ◎その他

- ・本資料内における旧シティ債券インデックスは、ブランド変更に伴い、FTSE債券インデックスの名称に変更しています。
- ・2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5% (法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。)) の税率が適用されます。

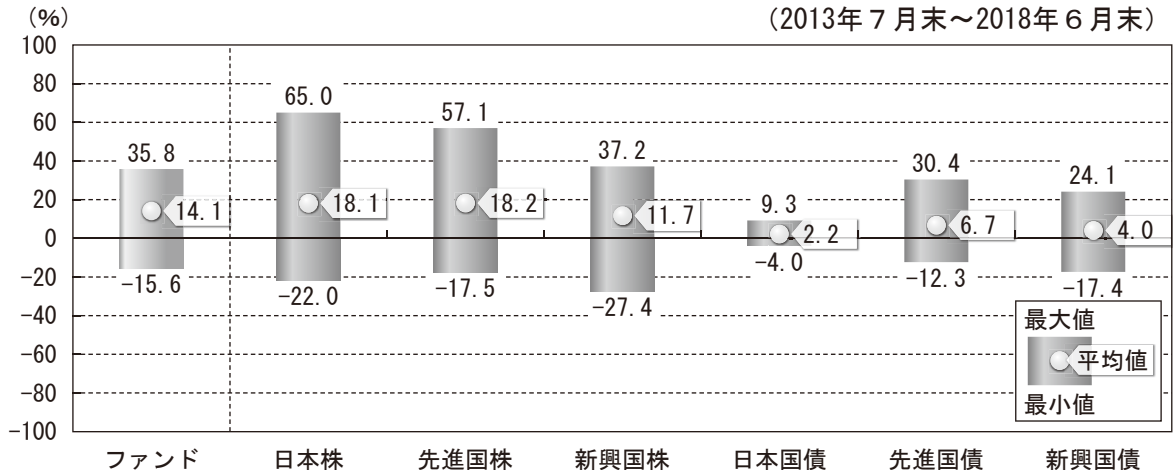
\*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

## 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2021年7月30日まで (1996年8月1日設定)	
運用方針	マザーファンドを通じて、NASDAQ市場に登録されている株式に投資し、キャピタルゲインの積極的な獲得をめざします。組入銘柄につきましては、ボトムアップ・アプローチを基本として、個別銘柄のファンダメンタルを重視した銘柄選定を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。	
主要投資対象	当ファンド	NASDAQマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、当ファンドで直接投資することがあります。
	NASDAQマザーファンド	NASDAQ登録株式を主要投資対象とします。
運用方法	NASDAQ登録株式を実質的な主要投資対象とし、新技術・新製品開発力、すぐれたビジネスモデル、マーケティング力に着目し、長期的な成長が期待できる企業を選定し、キャピタルゲインの積極的な獲得をめざします。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益 (評価益を含みます。) 等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

## ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

**i** 当ファンドの基準価額の変動率を他資産と比較することでファンドの値動き特性を捉えるのにお役立てください。



○上記は、2013年7月から2018年6月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

### ○各資産クラスの指数

日本株：TOPIX（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

日本国債：NOMURA-BPI（国債）

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- ・全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- ・騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

## 当該投資信託のデータ

### 当該投資信託の組入資産の内容

(2018年7月31日現在)

#### 組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	第22期末 2018年7月31日
N A S D A Q マザーファンド	98.6%

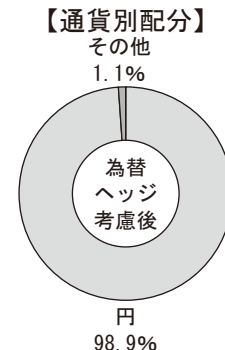
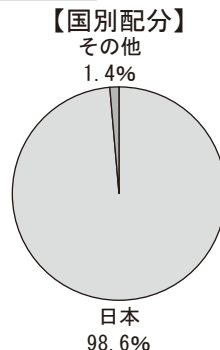
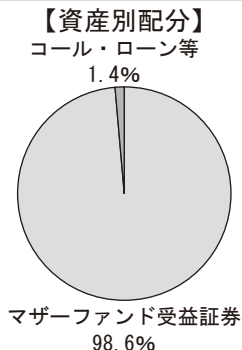
・比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

#### 純資産等

項目	第22期末 2018年7月31日
純資産総額	2,316,681,589円
受益権口数	2,748,130,727口
1万口当たり基準価額	8,430円

・当期中において  
 追加設定元本は 1,045,084,019円  
 同解約元本は 975,597,579円です。

#### 種別構成等



・比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。  
 ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。  
 ・【国別配分】は、組入ファンドの発行国を表示しています。

## 組入上位ファンドの概要

### NASDAQマザーファンド

(2018年7月31日現在)

#### 基準価額の推移



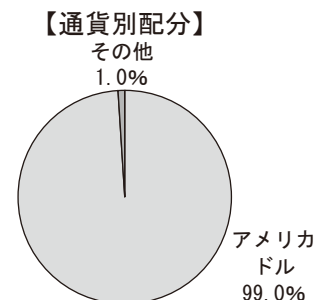
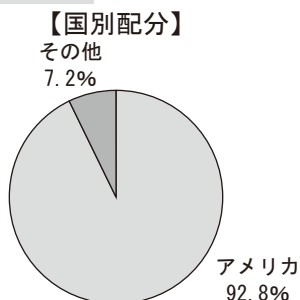
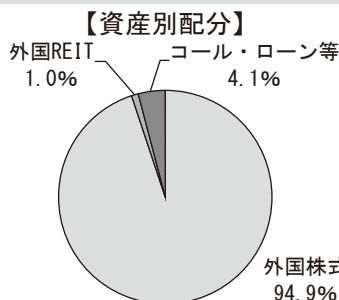
#### 組入上位10銘柄

(組入銘柄数：37銘柄)

	銘柄	種類	国	業種/種別	比率
1	APPLE INC	株式	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	9.5%
2	MICROSOFT CORP	株式	アメリカ	ソフトウェア・サービス	9.4%
3	AMAZON.COM INC	株式	アメリカ	小売	9.0%
4	ALPHABET INC-CL C	株式	アメリカ	ソフトウェア・サービス	8.9%
5	TEXAS INSTRUMENTS INC	株式	アメリカ	半導体・半導体製造装置	3.4%
6	ROSS STORES INC	株式	アメリカ	小売	3.2%
7	INTEL CORP	株式	アメリカ	半導体・半導体製造装置	3.2%
8	ALIGN TECHNOLOGY INC	株式	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	3.0%
9	ACTIVISION BLIZZARD INC	株式	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.8%
10	INTUITIVE SURGICAL INC	株式	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	2.8%

- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・REITを含めて表示しています。
- ・なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

#### 種別構成等



- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含まず。

#### 1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	97円	0.290%
(株式)	( 94)	(0.281)
(投資信託証券)	( 3)	(0.009)
(b) 有価証券取引税	1	0.002
(株式)	( 1)	(0.002)
(投資信託証券)	( 0)	(0.000)
(c) その他費用	6	0.017
(保管費用)	( 6)	(0.017)
(その他)	( 0)	(0.000)
合計	104	0.309

期中の平均基準価額は、33,636円です。

(2017年8月1日～2018年7月31日)

- (注) 1万口当たりの費用明細は、組入れファンドの直近の決算期のもので、費用項目の概要については、2ページの注記をご参照ください。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

968068

## 指数に関して

### ○ファンドの参考指数である『NASDAQ総合指数（円ヘッジベース）』について

NASDAQ総合指数とは、NASDAQ上場全銘柄の時価総額加重平均により算出され、1971年2月5日を基準値100としています。NASDAQ総合指数（円ヘッジベース）は、NASDAQ総合指数をもとに、委託会社が計算したものです。

### ○「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

#### TOPIX（配当込み）

TOPIX（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数（TOPIX）に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX（配当込み）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の停止またはTOPIX（配当込み）の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

#### MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

#### MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

#### NOMURA-BPI（国債）

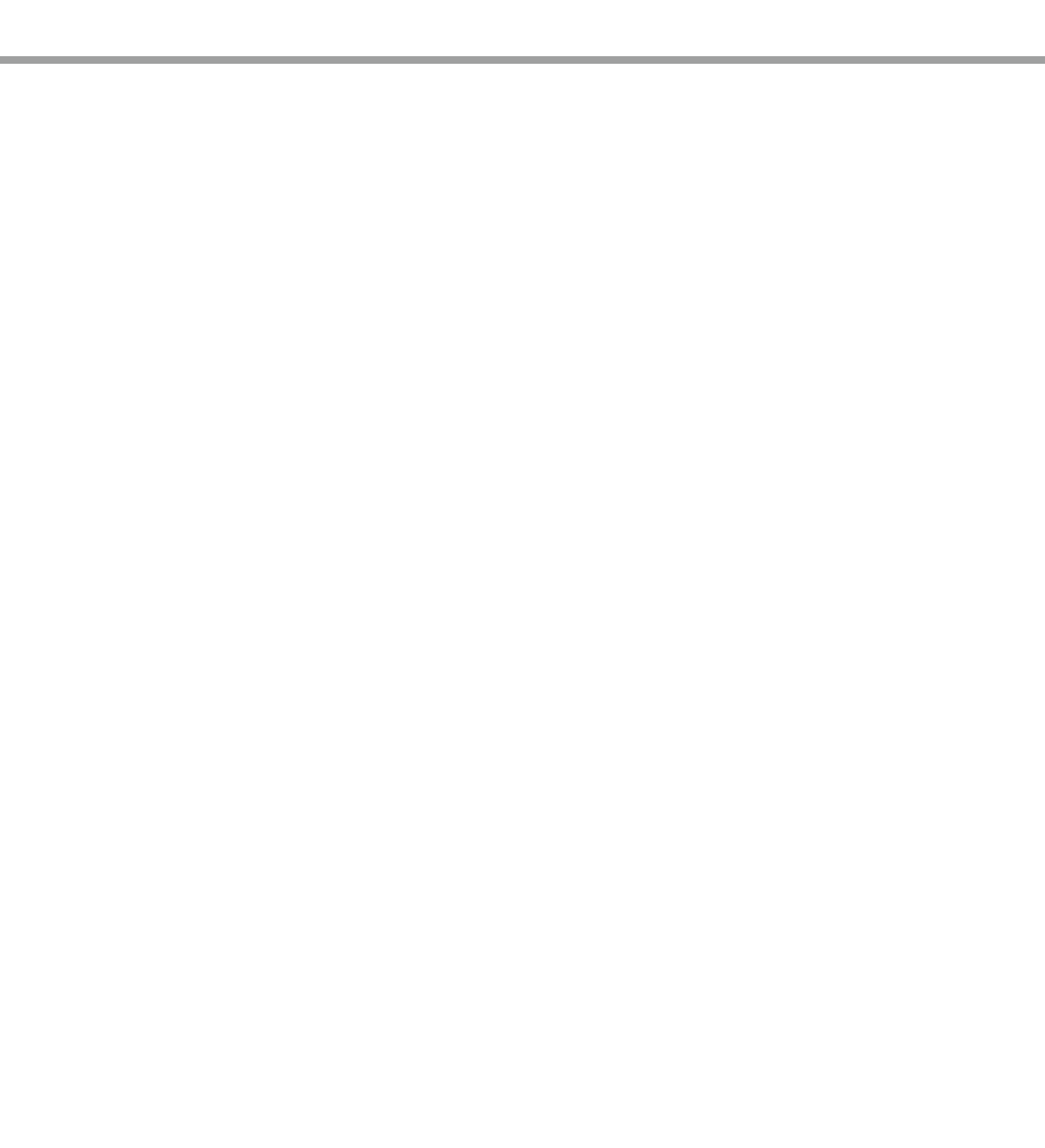
NOMURA-BPIとは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（国債）はそのサブインデックスです。わが国の国債で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA-BPI（国債）は野村證券株式会社の知的財産であり、運用成果等に関し、野村證券株式会社は一切関係ありません。

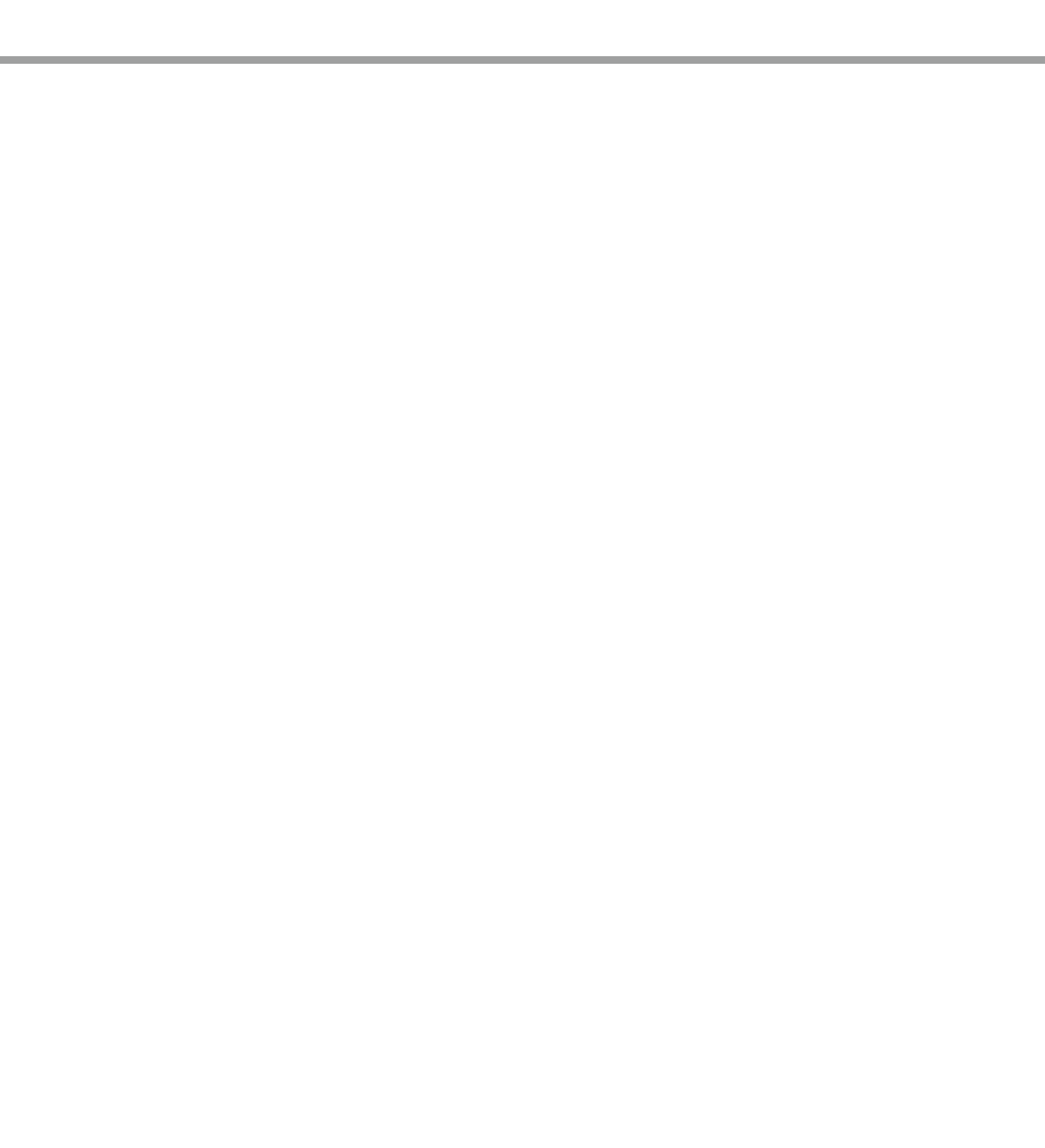
#### FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。







三菱UFJ国際投信